



2018年3月期 決算説明会

フジテック株式会社
2018年5月25日(金)



ヤング・シティ(韓国)

1. 2018年3月期 通期実績
2. 2019年3月期 通期業績予想
3. 中計最終年度の取り組み

1. 2018年3月期 通期実績

中国不振で経常減益

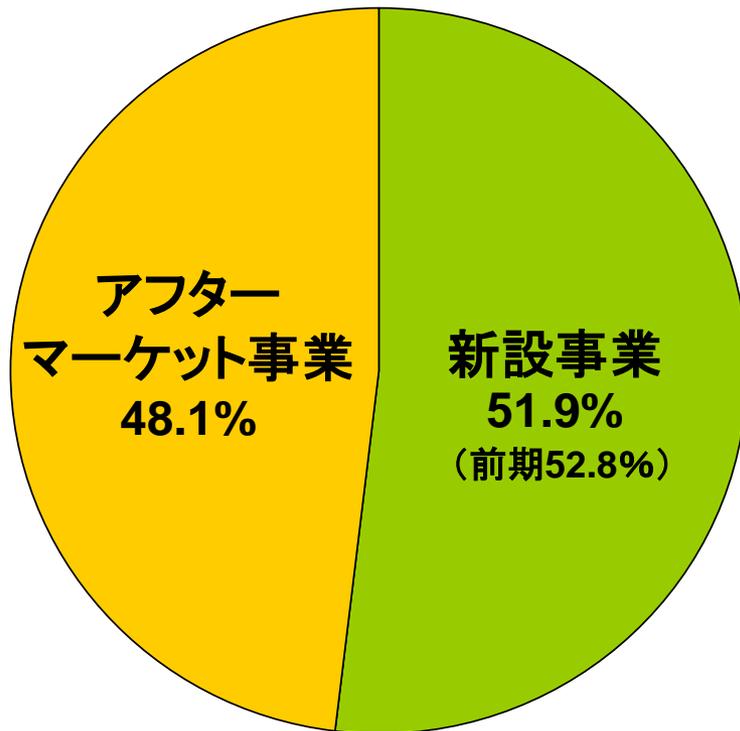
(単位:百万円)

	2018/3 (通期)	構成比 (利益率)	修正計画	期初計画	2017/3 (通期)	構成比 (利益率)	増減 (前期比)
受注高	182,023	100.0%	—	—	174,966	100.0%	+4.0%
国内	68,094	37.4%	—	—	64,452	36.8%	+5.7%
海外	113,929	62.6%	—	—	110,513	63.2%	+3.1%
売上高	168,795	100.0%	171,000	175,000	167,442	100.0%	+0.8%
国内	64,935	38.5%	—	—	62,797	37.5%	+3.4%
海外	103,860	61.5%	—	—	104,644	62.5%	△0.8%
営業利益	10,665	6.3%	10,500	13,200	12,687	7.6%	△15.9%
経常利益	11,911	7.1%	11,500	13,500	13,110	7.8%	△9.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	8,857	5.2%	8,300	9,000	8,564	5.1%	+3.4%
EPS	109.82円	—	102.94円	111.75円	106.35円	—	+3.47円

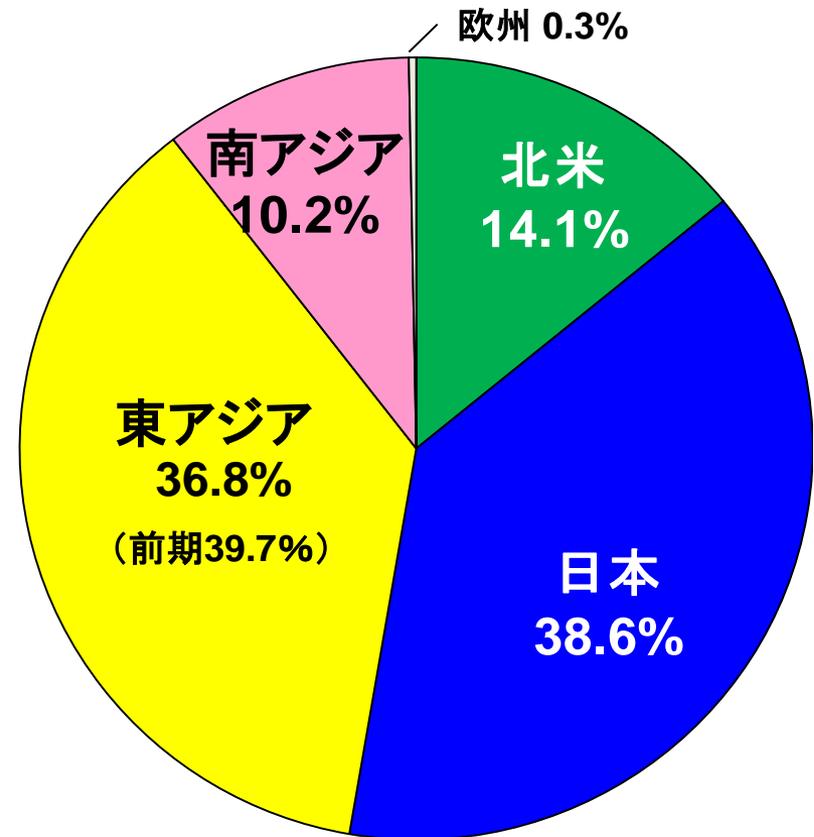
平均為替レート：18/3期：1米ドル112円、17/3期：1米ドル109円

東アジアが減少

事業別売上高



セグメント別売上高



日本、南アジアが増収増益

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2018/3 (通期)	2017/3 (通期)	増減%	2018/3 (通期)	2017/3 (通期)	増減額
日 本	67,646	65,572	+3.2%	5,728	5,445	+283
東アジア	70,442	72,594	△3.0%	2,257	4,540	△2,282
北 米	23,871	22,092	+8.1%	920	930	△9
南アジア	17,191	15,586	+10.3%	1,936	1,720	+215
欧 州	511	407	+25.4%	△67	△54	△13
小 計	179,662	176,254	+1.9%	10,774	12,582	△1,807
調 整 額	△10,867	△8,811	—	△109	105	△214
合 計	168,795	167,442	+0.8%	10,665	12,687	△2,022

平均為替レート：18/3期 1米ドル112円、17/3期 1米ドル109円

増収増益、2期連続で過去最高を更新

需要動向

- ・ホテル、商業施設向けが堅調
- ・マンション向けは横ばい
- ・首都圏中心に堅調に推移

(単位:百万円)

	2018/3(通期)	2017/3(通期)	増減
売上高	67,646	65,572	+3.2%
営業利益	5,728	5,445	+5.2%
営業利益率	8.5%	8.3%	+0.2P



京急グループ本社ビル(仮称)
(横浜)

事業概況

- ・新設事業、アフターマーケットビジネスともに増収
- ・新設事業で外注費、人件費が増加
- ・アフターマーケットビジネスが堅調に推移し増益

中国不振で営業利益が大幅減少

需要動向

- ・中国は堅調。台数ベースで微増
- ・香港、台湾、韓国は緩やかに回復

(単位:百万円)

	2018/3(通期)	2017/3(通期)	増減
売上高	70,442	72,594	△3.0%
営業利益	2,257	4,540	△50.3%
営業利益率	3.2%	6.3%	△3.1P



中国人壽保險新本社ビル
(台湾)

事業概況

- ・中国の新設事業は受注台数が過去最高
- ・価格競争激化による販売価格の下落で新設事業が減収
- ・材料費上昇も重なり、中国は大幅な減益
- ・香港、台湾は増収増益

シンガポールは増収増益、インドは新設受注が低調

需要動向

- ・シンガポール、アセアン地域は概ね堅調に推移
- ・インドは停滞

(単位:百万円)

	2018/3(通期)	2017/3(通期)	増減
売上高	17,191	15,586	+10.3%
営業利益	1,936	1,720	+12.5%
営業利益率	11.3%	11.0%	+0.3P



アワー・タンピネス・ハブ
(シンガポール)

事業概況

- ・シンガポールはアフターマーケットビジネスが堅調に推移し増収増益
- ・インドは新設受注が低調。保守は堅調に推移

北米はアフターマーケットビジネスが拡大

需要動向

- ・北米は景気の拡大を受け堅調に推移

事業概況

- ・北米はモダニゼーション、保守が好調。
営業利益は経費増から横ばい
- ・欧州はドイツの販売子会社を売却



トランプ・タワー(ウルグアイ)

北米

(単位:百万円)

	2018/3 (通期)	2017/3 (通期)	増減
売上高	23,871	22,092	+8.1%
営業利益	920	930	△1.0%
営業利益率	3.9%	4.2%	△0.3P

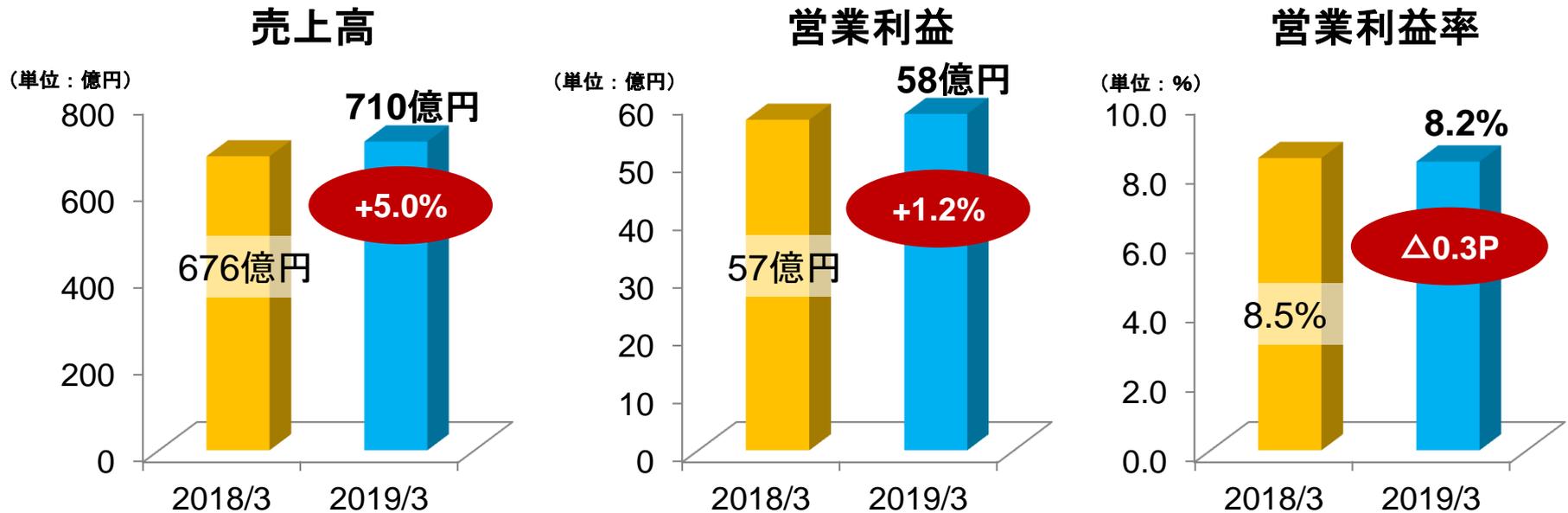
欧州

(単位:百万円)

	2018/3 (通期)	2017/3 (通期)	増減
売上高	511	407	+25.4%
営業利益	△67	△54	—
営業利益率	—	—	—

2. 2019年3月期 通期業績予想

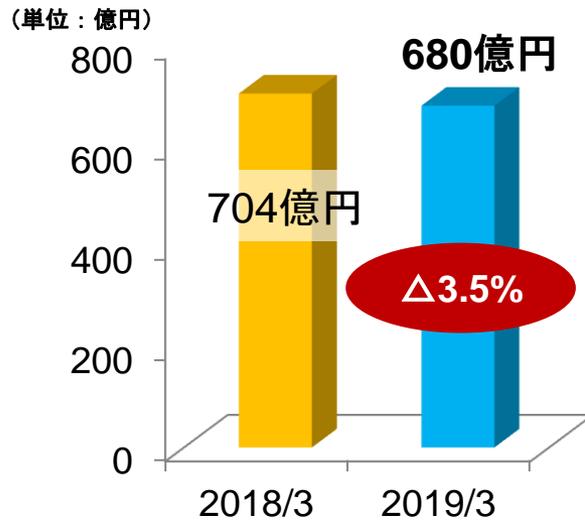
3期連続の増収増益を目指す



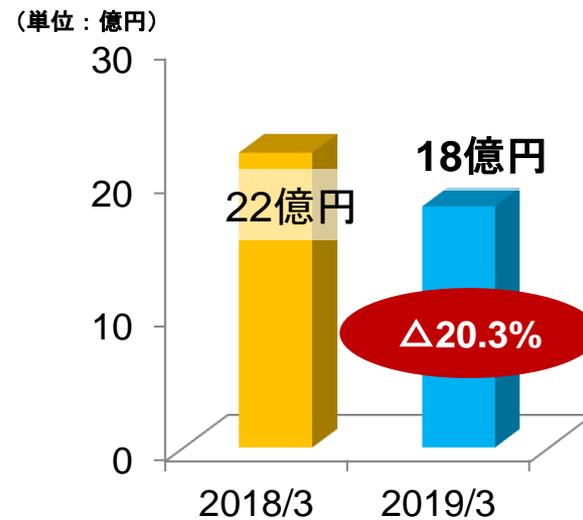
- 首都圏を中心に需要は堅調
- 新設事業は受注拡大、アフターマーケットビジネスは保守堅調
- 大型案件が相次ぎ竣工し、売上増
- 人件費、経費の増加で営業利益率は低下

減収減益

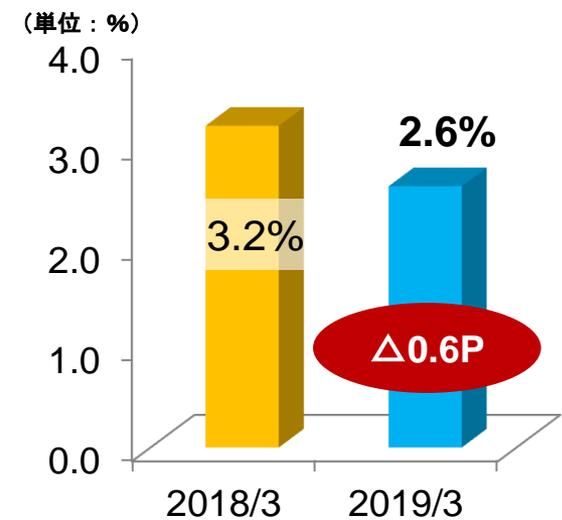
売上高



営業利益

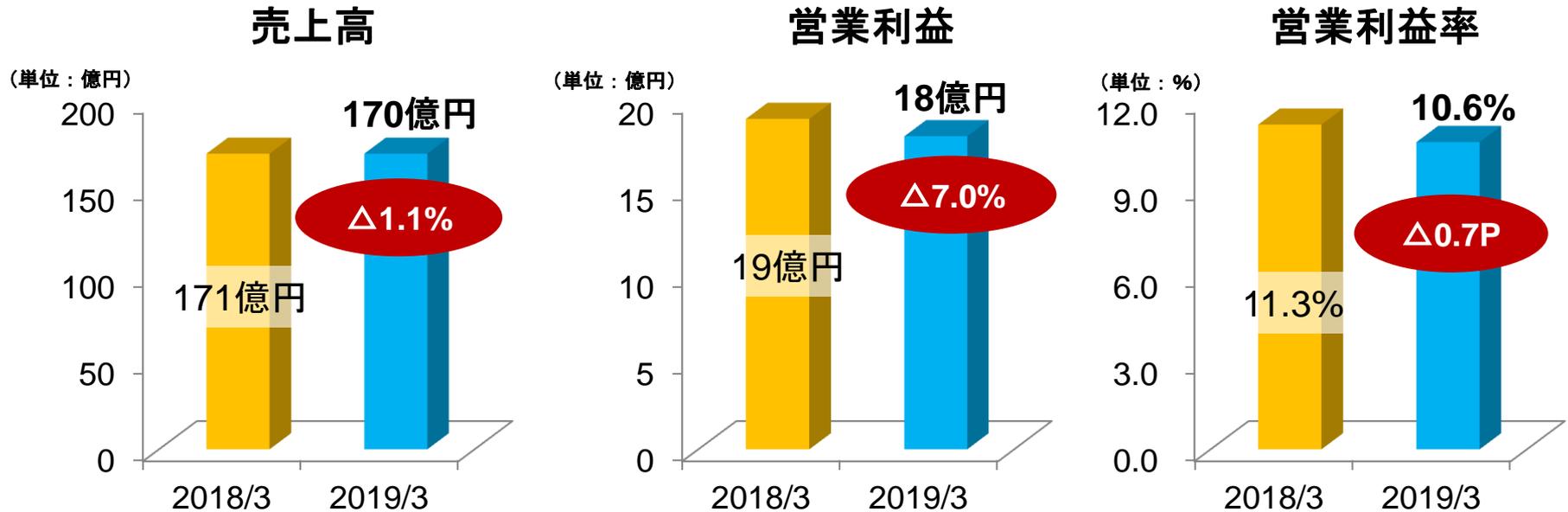


営業利益率



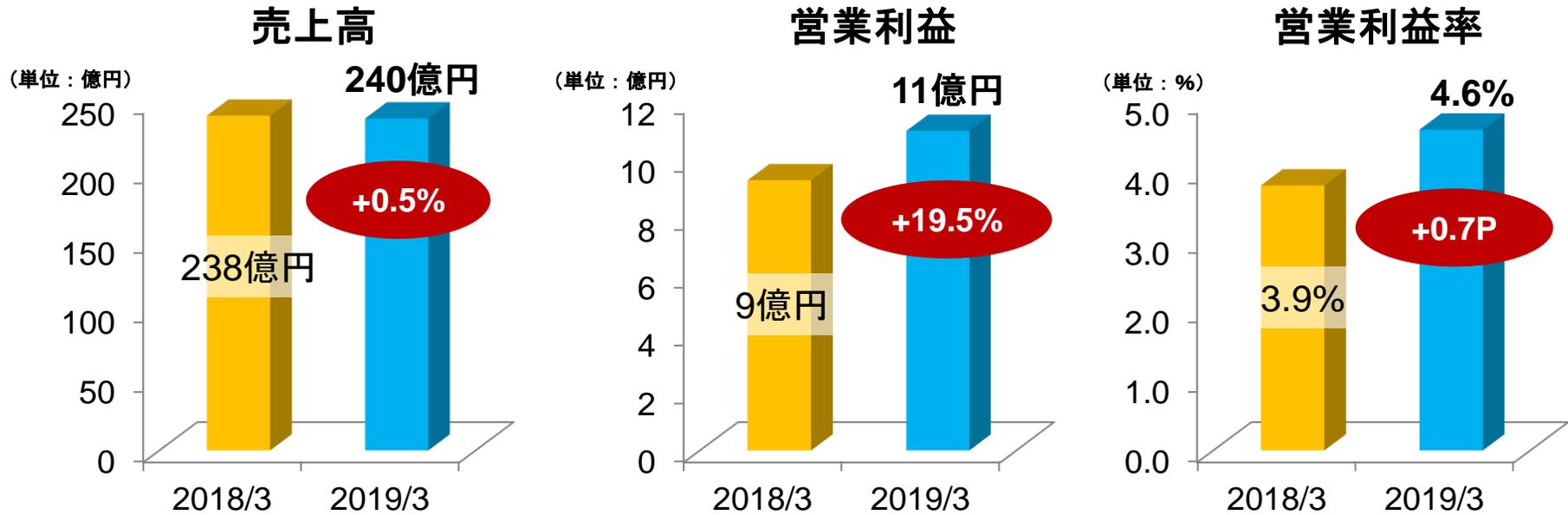
- ・売上高は中国が前期の水準を維持。香港、韓国が減収
- ・中国は販売価格の下落が続き減益予想
- ・香港、台湾は堅調も、韓国は営業損失見込む

売上高、営業利益は横ばい



- ・シンガポールは新設減少も、アフターマーケットが堅調。営業利益は人件費、経費の増加で微減
- ・インドネシア、マレーシアは増益予想
- ・インドは需要拡大を見込み、新設受注、売上高ともに増加を計画

増収増益で営業利益率改善



- ・受注環境は良好
- ・新設事業、アフターマーケットビジネスともに増収増益

設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2019/3	2018/3	増減額
設備投資額	3,900	2,337	+1,563
国内	2,900	1,181	+1,719
海外	1,000	1,156	△156
減価償却費	3,000	2,915	+85
研究開発費	2,600	2,323	+277

(単位：円)

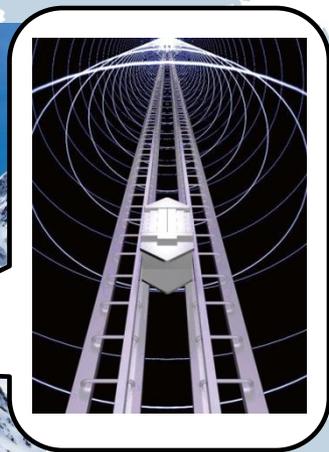
	2019/3	2018/3	増減額
配当金	42	35	+7
中間	20	15	+5
期末	22	20	+2

※2018年3月期の期末配当予想は創業70周年の記念配当5円を含んでいます。

3. 中計最終年度の取り組み

市場ニーズを捉えたシェアアップ

世界最長の昇降行程のシャトルエレベータを受注

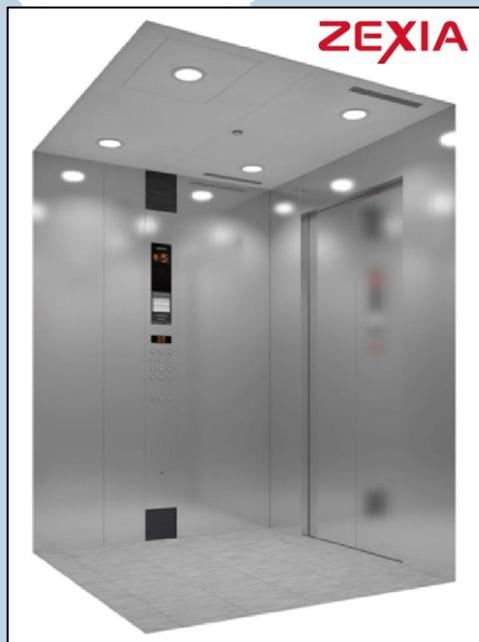


- ・中国河北省張家口の「新雪国プロジェクト」
- ・分速720メートルのエレベータを受注

商品統一による市場競争力の強化

■新しいグローバル標準型エレベータ

- ・ZEXIA(ゼクシア): 機械室あり
- ・REXIA(レクシア): 機械室なし



■エスカレータのモダニゼーション 「ユニット in トラス 工法」

- ・既設トラスを残して最新のエスカレータへ



施工前



施工後

■ウイングスクエア

ビッグウイング(彦根)に
最新の研究・開発施設
として設置



調達革新

機器、部品の共通化による調達・物流改革の推進

サプライヤー

上海調達センター

フジテック・コリア

各国



Steel plates



Ropes



Railings



物流拠点を設置



グローバル設計ネットワークの構築

- 販売拠点と生産拠点間の、受発注システム一元化
- 設計情報のグローバル共有



経営品質の向上

スマートフォンを活用した働き方改革

社内開発アプリケーションを利用

- 出勤簿アプリケーション
- 地図アプリケーション
- メンテナンス関連アプリケーション 等



機動的・業務の効率化を推進



参考資料

(単位：百万円)

	2018/3末	2017/3末	増減額	備考
流動資産	130,856	123,038	+7,817	
現金及び預金	49,856	45,749	+4,107	南アジア、東アジアでの増加
受取手形及び売掛金	53,411	50,455	+2,955	南アジア、東アジアでの増加
棚卸資産	21,864	20,661	+1,203	東アジアでの増加
その他	5,723	6,172	△448	
固定資産	52,362	49,969	+2,392	
有形固定資産	34,388	34,495	△106	設備投資 +2,175 減価償却 △2,632 為替ほか +351
無形固定資産	4,029	3,893	+136	
投資その他の資産	13,943	11,580	+2,363	株価上昇による投資有価証券の評価額増加 +1,056 取得 +1,233
総資産	183,218	173,007	+10,210	
流動負債	66,821	64,103	+2,718	工事損失引当金 △1,257 支払手形及び買掛金 +1,002 前受金 +3,039
固定負債	4,574	5,057	△482	
純資産	111,822	103,847	+7,974	利益剰余金 +6,425
自己資本比率	54.8%	53.5%	+1.3P	
B P S	1,243.46円	1,148.36円	+95.10円	

(単位：百万円)

	2018/3	2017/3	増減額
現金及び現金同等物期首残高	20,910	21,833	△923
営業活動キャッシュ・フロー	11,870	14,360	△2,489
投資活動キャッシュ・フロー	△5,345	△6,957	+1,611
フリーキャッシュ・フロー	6,525	7,403	△877
財務活動キャッシュ・フロー	△3,858	△6,757	+2,898
現金及び現金同等物期末残高	24,043	20,910	+3,133

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円 (発行済株式数93,767,317株)
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名 (うち社外3名) 監査役：4名 (うち社外3名)
従業員数	連結 9,931名 (個別 2,919名)
関係会社	34社 (内、連結子会社18社) (米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東)

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年5月25日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2018年5月25日

フジテック株式会社

2018年3月期 決算説明会資料

